

近江湖の辺の道

湖北山岳コース (余呉湖-賤ヶ岳-山本山)

コースマップ

余呉湖から山本山へ 歴史の舞台を縦断

近江湖の辺の道は近江舞子から近江八幡をびわ湖を北まわりに結ぶ約140kmの自然歩道です。余呉湖からは賤ヶ岳を経て山本山へ約13kmに渡って稜線歩く山岳コースになっています。賤ヶ岳の古戦場をはじめ古保利古墳群や山本山城跡など悠久の歴史に触れることのできるコースです。

湖北山岳コース

約7時間／約13km

JR余呉駅	
▼約 5分	0.5km
江土登山口	
▼約40分	1.8km
中川清秀の墓	
▼約1時間	2.5km
賤ヶ岳山頂	
▼約2時間	4.0km
古保利古墳群	
▼約2時間	4.0km
山本山山頂	
▼約40分	0.8km
山本山登山口バス停	

Access

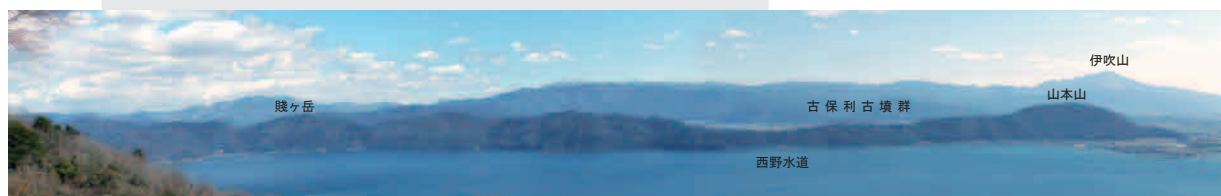
公共交通
行き：JR北陸線余呉駅下車。
帰り：こはくちようバス山本山登山口バス停から、同バス河毛駅下車。

Information

問い合わせ先
【こはくちようバス】湖国バス長浜営業所
専用電話 (0749)-62-3203
【コース】奥びわ湖観光協会
電話 (0749)-82-5909

Advice

アドバイスと注意点
コースは未舗装の自然道でアップダウンが繰り返します。特に山本山山頂から登山口へは急な坂道なので軽登山以上の装備で。



奥琵琶湖パークウェイからみた湖北山岳コースの稜線



江土登山口



① 中川清秀の墓

賤ヶ岳の合戦における中川清秀の砦跡。敵将佐久間盛政の奇襲にあい、全員この地で全滅した。周囲には部分的に土塁が残っており、のちに墓碑が建てられた。



② 賤ヶ岳

余呉湖と琵琶湖を一望できるビューポイント。賤ヶ岳の合戦では桑山重晴の砦となり山頂周りには土塁跡が見られる。



③ 古保利古墳群

古墳時代から飛鳥時代（3～7世紀）につくられた一大古墳群。丘陵線上の約3kmに渡って132基の古墳が見つまっている。琵琶湖から見られることを意識した立地は当時の重要な交流・交易の手段であった水運の影響と考えられる。



④ 山本山

陸上と琵琶湖を見渡す重要な位置にあることから、平安時代から戦国時代にかけて山城が築かれてきた。近年はオオワシ(メス)が越冬のため湖北に渡り、山本山をねぐらにしており、その姿を一目見ようと野鳥ファンやカメラマンが多く訪れている。